

たすけ書道教室

二〇二五年十一月
(令和七)

変化とまとまり



書道の作品を制作する際に
「気をつけること」として、「変化
をつける」ということがあります。
整った字を揃えて書く「習字」
とは対照的です。書道では字
の大きさを変えたり、墨の
位置が横並びにならないうた
ずらしたりして、変化をつけます。
とはいえ、変化をつけすぎても
まとまりのない作品になることは
避けなければなりません。前
号で紹介した「向勢」「背勢」が
一つの作品の中を混在すると、統
一感のない作品になってしまうま
す。変化をつけながらまとまり
のある作品をつくるのは難しい
ものです。

作品紹介

秋の
夜長の

「の」右上が角ばったが惜しい、
字形良く三つの右はいいも上手

達見
明遠

「見」の最終画が水平になると
尚良、くんはうの形や右はいい

小中学生
今月の課題

めは
いつ

小二

竹か
ざり

小三

明
心る

小四

青い
大海

小五(1)

光る
水面

小五(2)

軽快
な曲

小六

宇宙の
神秘

中学生